

令和5年度 中学部 1年（Ⅱ課程 AB類型）道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材	
35	学年 人数等		小学どうとく「ゆたかな心」 光文書院3年 教科書	
年間目標	<p>(A:自分自身に関する事)自分の特徴に気づき長所を伸ばしたり、過ちは素直に改め正直に明るい心で生活したり、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜く態度を育てる。</p> <p>(B:人との関わりに関する事)家族など生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを持ち、友達との相互理解に努め、助け合う態度を育てる。</p> <p>(C:集団や社会との関わりに関する事)約束や社会の決まりの意義を理解したり、働くことの大切さを知り進んでみんなの為に働いたりして、協力し合って楽しい学級や学校を作ろうとする態度を育てる。</p> <p>(D:生命や自然、崇高な物との関わり)生命の尊さを知ったり、自然の素晴らしさや不思議さを感じとり、自然や動植物を大切にすることを育てる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	1学期 (11)  2学期 (14)  3学期 (10)	<p><b>A【自分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の木」の作成を通して、自分の良さを見つめ、自分の良さを自分の力で今後も伸ばしていく大切さに気付かせる。</li> <li>・気持ちの良い一日を過ごすため、健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をする大切さに気づき、自己紹介を通して、自分のことを知ってもらおうとする。</li> <li>・自分の良い所や頑張っていることなどを見つめ、更により良い自分になるために努力していこうとする態度を育む。</li> <li>・「心の木」や、「心のノート」の作成を通して、自分の良さを見つめ、自分の良さを自分の力で今後も伸ばしていく大切さに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころの木」、「こころのノート」作成 ※教科書外</li> <li>・参照題材（ゆたか3年） 『干ばつる』 『うわさ話・つらい気持ち』 『世界ーうつくしい体そうをめざして』 『ぼくらは小さななかにはかせ』 『思い切って言ったらどうなるの?』</li> <li>・「こころの木」、「こころのノート」振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をして、自分を見つめ、相手に知ってもらおうとする態度を育む。</li> <li>・自分の特徴を見つけ、これから磨いていきたい事について考える。</li> <li>・自分の好きな事、得意な事、頑張っている事をお互い発表し合う。</li> <li>・心の木の作成を通して、自分の一年間の行動を振り返り、自分の良さを見つめて、今後更に自分の良さを自分の力で伸ばしていこうとする気持ちの大切さに気付くように導く。</li> </ul>
		<p><b>B【人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前の由来を知り、一つしかない命、支えられている命だということに気づき、家族への感謝の気持ちをもつ。（ワークシート）また、自分とは違う友達の良さを認めようとする。</li> <li>・身近にいる人に温かい心で接し、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする気持ちと態度を育む。</li> <li>・祖父母への関心を高め、感謝の気持ちを育む。また、友達と仲良くするために相互理解に努めることの大切さに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命にふれて（ワークシート） ※教科書外</li> <li>・参照題材（ゆたか3年） 『友だち屋』 『電話のおじぎ』 『ドンマイ！ドンマイ！』 『わたしのこと』 『ないた赤おに』 『わたしだって』 『ぼく知らなかったよ』 『生きたれいぎ』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前にはどのような願いが込められているか親に教えてもらう。</li> <li>・「心の木」の作成を通し、互いの良い所を認め合う（年間通して作成）</li> <li>・「母の日」「父の日」に家族への感謝の気持ちを込めたメッセージ作成</li> <li>・「ドンマイ」という言葉には、どんな言葉があるか考える。</li> <li>・これまで、人から親切にしてもらったり、人に親切にしてあげたことを発表させる。</li> <li>・家族のために自分ができていることを考える。</li> <li>・学級における友達との関わり方を振り返り、仲よくするためには相互理解に努め関わっていくことが大切だということに気付かせるよう導く。</li> </ul>
		<p><b>C【集団・社会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学級での役割や係活動に取り組み、友達と協力し合って楽しい学級を作ろうとする態度を育む。</li> <li>・働くことの喜びや良さに気づき、進んで協力して集団の役に立つよう意識して働く態度を育む。また、楽しい学級や学校生活にするためには、仲間を敬愛し協力し合うことが大切だということに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考題材（ゆたか3年） 『清作のおてつだい』 『心の優先席』 『はた・らく』 『キツネのおどり』 『郷土かるた』 『いちようの木をまもるために』 『お母さん、かぜでねこむ』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の話し合い活動や係活動等で学校生活の充実を皆で進めてきた経験を基に、学校の皆が学校をより良くしようと支えていることや、自分達も学級をより良くしようと頑張っていることに気づけるよう導く。</li> <li>・集団である学級の係活動での役割を通して学習する。</li> <li>・校内実習で各班の仕様の様子を知る。</li> <li>・各班の目標を立てて協力する。</li> <li>・校内実習を終えて感じたことを発表する</li> <li>・校内陸上や特体連の行事を通して、個人目標を立てて取り組む。</li> <li>・これまでの学校や学級生活を振り返らせる</li> <li>・集団での目標を達成するためには、一人一人の協力と励ましが大切だということに気づけるように導く。</li> </ul>
		<p><b>D【生命】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物を共に生きている仲間として、捉えようとする態度を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参照題材（ゆたか3年） 『目をさますたね』 『花さき山』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を通し、動植物からも元気をもらおう等、支えてもらっていることに気付かせるよう導く。また、人間だけでなく、全ての命を大切にしていこうとする態度を育む。</li> <li>・校内の草花や昆虫採集、エビの餌やりをするなど、お世話をし、生き物に触れ合う。</li> <li>・植物の不思議について、考えたことをまとめる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>①各学期ごとに上記の4観点（上記A・B・C・D）を取り組む。但し、三学期は実態によって2～4観点とし、単元を選択していく。</p> <p>②「こころのノート」個人用ファイルを作成し、授業を通してわかったことや気づいたこと、友達、自分の「いいなあ」と思ったことをノートに書く。また、視覚化して振り返りが行えるように「心の木」を作成して、掲示物を作成してもよい。</p> <p>③「こころのノート」、「こころの木」、「命にふれて」の取り組みは、教科書にはなく本校独自の取り組みである。1学期のはじめに取りかかると良い。</p> <p>④クラスの実態に応じて、教材を他の物で代用するなど弾力的に学習教材を選択していく。</p>			

令和5年度 中学部 1年 (Ⅱ課程 B類型)道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材	
35	1学年 14名		小学どうとく「ゆたかな心」 光文書院3年 教科書	
年間目標	<p>(A:自分自身に関する事)自分の特徴に気づき長所を伸ばしたり、過ちは素直に改め正直に明るい心で生活したり、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜く態度を育てる。</p> <p>(B:人との関わりに関する事)家族など生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを持ち、友達との相互理解に努め、助け合う態度を育てる。</p> <p>(C:集団や社会との関わりに関する事)約束や社会の決まりの意義を理解したり、働くことの大切さを知り進んでみんなの為に働いたりして、協力し合って楽しい学級や学校を作ろうとする態度を育てる。</p> <p>(D:生命や自然、崇高な物との関わり)生命の尊さを知ったり、自然の素晴らしさや不思議さを感じとり、自然や動植物を大切にすることを育てる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 ～ 3 学期	1学期 (11)  2学期 (14)  3学期 (10)	<p><b>A【自分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の木」の作成を通して、自分の良さを見つめ、自分の良さを自分の力で今後も伸ばしていく大切さに気付かせる。</li> <li>・気持ちの良い一日を過ごすため、健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をする大切さに気づき、自己紹介を通して、自分のことを知ってもらおうとする。</li> <li>・自分の良い所や頑張っていることなどを見つめ、更により良い自分になるために努力していこうとする態度を育む。</li> <li>・「心の木」や、「心のノート」の作成を通して、自分の良さを見つめ、自分の良さを自分の力で今後も伸ばしていく大切さに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころの木」、「こころのノート」作成 ※教科書外</li> <li>・参照題材(ゆたか3年) 『干ばづる』 『うわさ話・つらい気持ち』 『世界ーうつくしい体そうをめざして』 『ぼくらは小さななかにはかせ』 『思い切って言ったらどうなるの?』</li> <li>・「こころの木」、「こころのノート」振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をして、自分を見つめ、相手に知ってもらおうとする態度を育む。</li> <li>・自分の特徴を見つけ、これから磨いていきたい事について考える。</li> <li>・自分の好きな事、得意な事、頑張っている事をお互い発表し合う。</li> <li>・心の木の作成を通して、自分の一年間の行動を振り返り、自分の良さを見つめて、今後更に自分の良さを自分の力で伸ばしていこうとする気持ちの大切さに気付くように導く。</li> </ul>
		<p><b>B【人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前の由来を知り、一つしかない命、支えられている命だということに気づき、家族への感謝の気持ちをもつ。(ワークシート) また、自分とは違う友達の良さを認めようとする。</li> <li>・身近にいる人に温かい心で接し、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする気持ちと態度を育む。</li> <li>・祖父母への関心を高め、感謝の気持ちを育む。また、友達と仲良くするために相互理解に努めることの大切さに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「命にふれて」(ワークシート) ※教科書外</li> <li>・参照題材(ゆたか3年) 『友だち屋』 『電話のおじぎ』 『ドンマイ!ドンマイ!』 『わたしのこと』 『ないた赤おに』 『わたしだって』 『ぼく知らなかったよ』 『生きたれいぎ』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前にはどのような願いが込められているか親に教えてもらう。</li> <li>・「心の木」の作成を通し、互いの良い所を認め合う(年間通して作成)</li> <li>・「母の日」「父の日」に家族への感謝の気持ちを込めたメッセージ作成</li> <li>・「ドンマイ」という言葉には、どんな言葉があるか考える。</li> <li>・これまで、人から親切にしてもらったり、人に親切にしてあげたことを発表させる。</li> <li>・家族のために自分ができていることを考える。</li> <li>・学級における友達との関わり方を振り返り、仲よくするためには相互理解に努め関わっていくことが大切だということに気付かせるよう導く。</li> </ul>
		<p><b>C【集団・社会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学級での役割や係活動に取り組み、友達と協力し合って楽しい学級を作ろうとする態度を育む。</li> <li>・働くことの喜びや良さに気づき、進んで協力して集団の役に立つよう意識して働く態度を育む。また、楽しい学級や学校生活にするためには、仲間を敬愛し協力し合うことが大切だということに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考題材(ゆたか3年) 『清作のおてつだい』 『心の優先席』 『はら・らく』 『キツネのおどり』 『郷土かるた』 『いちようの木をまもるために』 『お母さん、かぜでねこむ』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の話し合い活動や係活動等で学校生活の充実を皆で進めてきた経験を基に、学校の皆が学校をより良くしようと支えていることや、自分達も学級をより良くしようと頑張っていることに気づけるよう導く。</li> <li>・集団である学級の係活動での役割を通して学習する。</li> <li>・校内実習で各班の仕様の様子を知る。</li> <li>・各班の目標を立てて協力する。</li> <li>・校内実習を終えて感じたことを発表する</li> <li>・校内陸上や特体連の行事を通して、個人目標を立てて取り組む。</li> <li>・これまでの学校や学級生活を振り返らせる</li> <li>・集団での目標を達成するためには、一人一人の協力と励ましが大切だということに気づけるように導く。</li> </ul>
		<p><b>D【生命】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物を共に生きている仲間として、捉えようとする態度を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参照題材(ゆたか3年) 『目をさますたね』 『花さき山』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を通し、動植物からも元気をもらおう等、支えてもらっていることに気付かせるよう導く。また、人間だけでなく、全ての命を大切にしていこうとする態度を育む。</li> <li>・校内の草花や昆虫採集、エビの餌やりをするなど、お世話をし、生き物に触れ合う。</li> <li>・植物の不思議について、考えたことをまとめる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>①各学期ごとに上記の4観点(上記A・B・C・D)に取り組む。但し、三学期は実態によって2～4観点とし、単元を選択していく。</p> <p>②「こころのノート」個人用ファイルを作成し、授業を通してわかったことや気づいたこと、友達、自分の「いいなあ」と思ったことをノートに書く。また、視覚化して振り返りが行えるように「心の木」を作成して、掲示物を作成してもよい。</p> <p>③「こころのノート」、「こころの木」、「命にふれて」の取り組みは、教科書にはなく本校独自の取り組みである。1学期のはじめに取りかかると良い。</p> <p>④クラスの実態に応じて、教材を他の物で代用するなど弾力的に学習教材を選択していく。</p>			